
七転び八起き——私怨紫煙——

魔桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

七転び八起き——私怨紫煙——

【Nコード】

N5792Z

【作者名】

魔桜

【あらすじ】

主人公の山田麻衣には隠された過去があった。自分の人生を揺るがすような大きな出来事。それは——

紫煙は虚空へ混ざりゆく(前書き)

「海のキャンバス」のスピノフです。

紫煙は虚空へ混ざりゆく

「ああ？　なんだってえ？」

私は皺だらけのババアに向かって声を荒げる。ババアは特に臆した様子も見せずに、またもやか細い声で何やらぶつぶつ呟いている。「んやから、——んで、——んの、——ちゃわあ——」

今では老人以外誰も使っていない地元の方言と、異常なまでの滑舌の悪さで全く聞き取れない。

私は煙草を取り出し、煙を吐き出す。制服に煙草の臭いがついてしまうのを恐れ、吸うかどうか逡巡したが、こんな時は煙草でもないとやっていけない。

ババアはもの言いたげな視線で私を上から見上げながら、苦しうに咳き込む。

私に文句があるならさっさとてめえの言葉が分かる通訳のいるところでも行けてんだ。

「なんだ、バー——」

「おばあさん、どうかしたんですか？」

「ああ？」

ババアは、親切な対応をする女にあからさまに安堵した様子を見せた。私と違って上から下まできっちり、模範のように制服を着こなしている。それに比べて私の制服はよれよれ。それどころか髪は短髪、耳にはピアスを付けていて、とても同じ職業に就いている人間には見えないだろう。

菩薩のような笑顔でババアに道を教え終わると、やたら胸の脂肪がついている女は、私に凜とした態度で説教を始めた。

「山田さん、あなたが交通取り締まりをしたくないって言ったからここを任せたのよ。それなのに——」

「ああ、はいはい。じゃあ、ちょっと見回り行ってくるわ」

私は紫煙をくゆらせながら、交番を出た。自転車に乗って適当に

パチンコでも打っていいようかと思案する。
私はこれでも、正真正銘、警察官見習いだった。

紫煙は虚空へ混ざりゆく（後書き）

とりあえず、ウザい主人公が書きたくなってきたので書きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5792z/>

七転び八起き——私怨紫煙——

2011年12月19日12時46分発行